

ORCHESTRA HÁMON

イラスト: 露木 茜

託児サービス 芸術キッズルーム ミュースをご利用ください。

- ご利用方法: 12/20までに電話予約
- お預かり時間: 13:00から終演後30分まで
- ご利用料金: 4カ月~1歳児2,160円、2~6歳児1,080円
- ご予約ご質問はこちらまで 03-3981-7003



オーケストラ ハモン 第32回定期演奏会

指揮: 富平恭平

2014年 **12月27日(土)** 開場 13:00
開演 14:00

東京芸術劇場 大ホール

全席指定 / S席3,000円 A席2,000円 B席1,000円

モーツァルト
交響曲第35番 ニ長調 K.385 《ハフナー》

ブルックナー
交響曲第5番 変ロ長調

電子チケットぴあ ▶ 0570-02-9999
<http://t.pia.co.jp/>

お問い合わせ ▶

オーケストラ ハモン 事務局(山野上) Phone=090-9855-5065 Mail=info@hamon.tv
オーケストラハモン ウェブサイト <http://www.hamon.tv/>
チケットに関するお問い合わせ ticket@hamon.tv

オーケストラ HA'MON

第32回定期演奏会

2014年12月27日(土) 開場 13:00 開演 14:00

東京芸術劇場 大ホール

指揮: 富平恭平

モーツァルト 交響曲第35番 ニ長調 K.385 《ハフナー》

ブルックナー 交響曲第5番 変ロ長調

ORCHESTRA HÁMON

"HA'MON"とは、"Harmony of Art and Movement by Orchestral Network" (芸術の調和とオーケストラネットワークによる活動)のそれぞれ頭文字を取ったものであり、"波紋"という言葉の響きと掛け合わせたものです。

未来のお客様に向けてご案内のご挨拶を書くのに、定型文では失礼だろうと思い、毎回チラシ裏面に「あれやこれやと書かせて頂いています。

さて。今から7年前に、筆者が失恋をした時の事。意中の相手にこっぴどく振られ、自宅に帰りつくも枕を涙でびしょ濡れにして嗚咽しながら臥せていたところ、そんな背中に筆者の姉が掛けた言葉。

姉「電車は追うな。また来る」

筆「…!!!」

身内から掛けられた言葉に絶句しました。そして絶望の淵に立たされていた心は瞬時に再起動しました。簡潔、且つ心に刺さるメッセージ性溢れる言葉でした。後年、JR山手線を駅のホームで眺めていたところ、ふと姉の言葉を思い出したので、インターネットで検索してみた。すると、正しくは、「電車と女は追うな。すぐまた来る。」オーストリアのことわざ※1との事。まさか姉がオーストリアのことわざを使いこなす人間だとは知らなかったが、そもそも追ってはいけナイ電車とは、2分に1本はやって来る山手線ではなく、オーストリアの電車の事だったのだ!!そして、ことわざになっている位だから、オーストリア人の中にも筆者と同様にこのことわざに元気づけられる人間がいるのだ、と思うと妙におかしくなりました。

さてさて、当団ハモンが富平恭平先生のタクトの元、モーツァルトとブルックナーの作品に取り組みます。二人ともオーストリアの偉大な作曲家。モーツァルトが活躍した時代に電車は無かったかもしれませんが、ブルックナーの生きた時代(1824-1896)は電車が走っていたはず!※2そして、幾度も電車を待ったに違いありません※3。時代も国も遠く離れた日本に住まう我々ですが、共感する心のポイントは案外近いところにあるのかもしれません。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

(オーケストラHA'MON代表 山野上 二郎)

※1 本紙面の原稿締切間近のこと。ブリュッセルに住まう知人を介して「教養のあるオーストリア人」に聞いてみた。ところが、オーストリアでそのことわざは聞いたことがなく、代わりに、ドイツ人の女流作家(Eva Zeller 1923年生まれ)が書いた「男とトラム(路面電車)は追うな、すぐまた新しい(次)のが来る。」という言葉がネットで見つけたとのこと。…真実や如何に!?ドイツかオーストリアか?或いは男なのか女なのか?現時点では曖昧模糊としており、暫定的にオーストリアのことわざとして引用させて頂きます。

※2 プロイセン(プロシア、現在のドイツ)が1880年、首都ベルリンに路面電車を走らせたのが最初ようです。出典) <http://kyotokitano.com/densya/>

※3 ブルックナーは終生独身で、晩年まで多くの若い女性に求婚したと言われています。出典) <http://ja.wikipedia.org/wiki/ブルックナー>

Kyohei Tomihira

指揮者 富平 恭平 (とみひら きょうへい)

東京生まれ。東京藝術大学音楽学部指揮科卒業。指揮を高関健、田中良和、小田野宏之、ピアノを安芸瑠子、迫昭嘉、秦はるひの各氏に師事。群馬交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団、ニューフィルハーモニー千葉、東京フィルハーモニー交響楽団を指揮している。ピアニストとしてもリサイタルの伴奏や協奏曲の弾き振り、ピアニストの服部容子氏と共に過去2回2台ピアノの演奏会を行い、好評を博している。2014年8月31日にはサントリーホールブルーローズにて3回目の2台ピアノ演奏会を予定している。オペラでの活動が多く、新国立劇場、東京二期会、藤原歌劇団、錦織健プロデュース、日生劇場などでの公演で副指揮者、合唱指揮者、コレペティトゥア、ピアニスト、プロンプターなどオペラに関わるあらゆる仕事をつとめている。古典派から現代物、イタリア・ドイツ・フランス・ロシア・チェコ・イギリス・日本物など70作品を超えるオペラの制作に携わっている。2006年4月から2010年3月まで東京二期会専属音楽スタッフとして活動し、2010年8月より新国立劇場音楽スタッフに就任し同劇場の全ての公演に関わっている。新国立劇場では「ばらの騎士」「コジ・ファン・トゥッテ」「蝶々夫人」「ルサルカ」「こもり」「セビリアの理髪師」「魔笛」の合唱指揮を務めた。またコンサートでも2010年7月レオシュ・スワロフスキー指揮東京都交響楽団、スメタナ作曲「売られた花嫁」、2011年1月下野竜也指揮読売日本交響楽団、リスト作曲「ファウスト交響曲」、2011年6月

パオロ・カリニャーニ指揮読売日本交響楽団、モーツァルト作曲「レクイエム」、2011年10月アンドレ・プレヴィン指揮NHK交響楽団、ブラームス作曲「ドイツ・レクイエム」、下野竜也指揮2012、2013、2014年NHKニューイヤーオペラコンサート、2012年5月尾高忠明指揮NHK交響楽団、デュルフレ作曲「レクイエム」、2012年5月ダン・エッティンガー指揮東京フィルハーモニー管弦楽団、ショハット作曲「アルファとオメガ」、2012年12月シャルル・デュワ指揮NHK交響楽団、ラヴェル作曲「子供と魔法」ストラヴィンスキー作曲「夜鳴きうぐいす」、2012年1月ダン・エッティンガー指揮東京フィルハーモニー管弦楽団、ロッシニ作曲「小莊厳ミサ」、2013年7月パオロ・カリニャーニ指揮尾井シンフォニエッタ、ロッシニ作曲「スターバト・マーテル」、2013年9月大友直人指揮東京交響楽団、マクミラン作曲「十字架上のキリスト最後の7つの言葉」、2013年11月ジョン・ミンファン指揮東京フィルハーモニー管弦楽団、ワーグナー作曲「トリスタンとイゾルデ」、2013年12月シャルル・デュワ指揮NHK交響楽団、ブーランク作曲「グローリア」、ベルリオーズ作曲「デデウム」の合唱指揮を務めている。



託児サービス 芸術キッズルーム ミューズをご利用ください。

●ご利用方法: 12/20までに電話予約 ●お預かり時間: 13:00から終演後30分まで
●ご利用料金: 4カ月~1歳児2,160円、2~6歳児1,080円 ●ご予約ご質問はこちらまで 03-3981-7003

ご招待のお知らせ

第32回定期演奏会に60歳以上の方を無料で招待します。当日、受付へお越し下さい。身分証明書等は不要ですのでお気軽に足をお運び下さい。

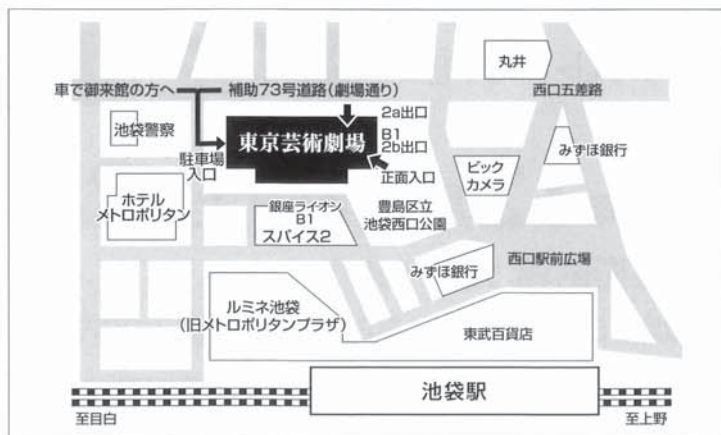
これからのHA'MON

第33回定期演奏会

[ミュージア川崎 シンフォニーホール]

2015年8月29日(土)

詳細は後日webにて公開予定 (<http://hamon.tv>)



※未就学児のホール内へのご入場はご遠慮下さい。